

声なき感染症を知る

◆92◆

今月は、今年の感染症にまつわるトピックスをまとめました。今年も新型コロナウイルス感染症関連のニュースが世間を騒がせましたが、他の感染症に関わる気になる情報を加えてお話しします。

▽HPVワクチン、積極的勧奨再開へ
 性行為によって感染し、子宮頸がんなどの原因となるヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐワクチン(HPVワクチン)は、全身の痛みなどの訴えが相次いだため、2013(平成25)年6月から積極的な接種勧奨が差し控えられていました。しかし、ワクチンに関する安全性や有効性を再評価し、2022年4月から、積極的な接種勧奨を再開することが、厚生労働省から自治体に通知されました。

定期接種の対象者は小学6年～高校1年相当の女性で、市町村が対象者やその保護者に対して、標準的な接種期間の前に、接種を促すはがき等を各家庭に送ること等により積極的に接種を推奨します。また、勧奨が中止になって以降に定期接種対象だった1997～2005年度生まれの方についても、接種の救済措置が検討されています。

▽鳥インフルエンザ
 時々テレビで、養鶏場で死んだニワトリから鳥インフルエンザが検出されたた

め、殺処分されたというニュースがありますが、これは家畜伝染病予防法に基づいて行われる防疫措置です。
 主に人に感染するインフルエンザにはA型とB型があり、A型は人以外にも鳥や豚などにも感染し、鳥インフルエンザウイルスはA型に分類されます。鳥イン

フルエンザウイルスは、カモ類などの水鳥を中心として鳥類が腸内に保有し、鳥に感染させた場合に鳥が高率に死亡させてしまうようなものを「高病原性鳥インフルエンザ」と言います。
 鳥インフルエンザウイルスは通常、人への感染は稀ですが、感染した鳥に触れるなどした場合には感染する可能性があります。ちなみに鶏肉や鶏卵を食べて人に感染したということはありません。

▽新型コロナウイルスワクチン追加接種
 2021年11月30日時点で奈良県において新型コロナウイルスワクチンの2回接種を完了した人は、総人口の77.2%となっています。ワクチンは時間の経過に伴い感染防止、重症化予防効果が低下していくことが示されています。

HPVワクチン再開 コロナ新たな変異株

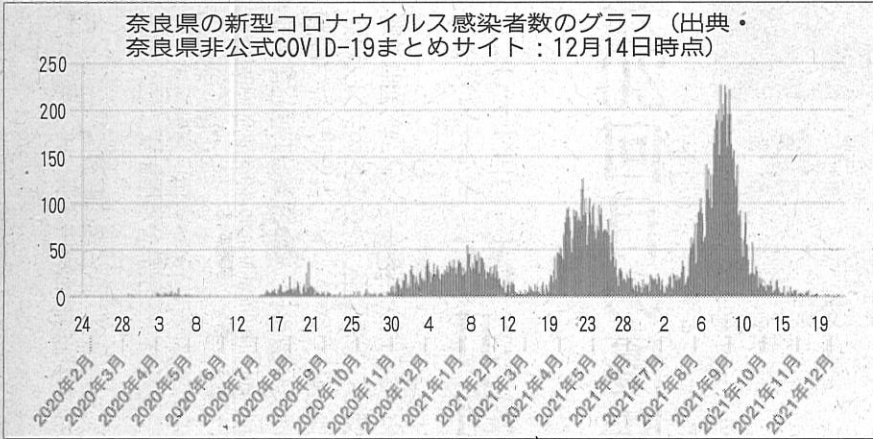
追加接種の対象は、初回の2回接種が完了した全ての方ですが、特に高齢者、基礎疾患を有する方などの「重症化リスクが高い方」、重症化リスクが高い方の「重症化リスクが高い方との接触が多い方」、医療従事者などの「職業上の理由などによりウイルス曝露リスクが高い方」については、自分だけでなく周囲の

から2週間あけることになっています。
 新型コロナウイルス感染症の流行状況
 新型コロナウイルス感染症は夏に過去最大の感染者数となった第5波を終えた後、今のところ流行は落ち着いた状態が続いています。第5波の収束はワクチン接種や集団免疫、感染対策、行動自粛季節性など複数の要因が考えられています。が、はつきりしていません。また、新たな変異株であるオミクロン株が見つかったり、従来株と比べ感染性が高く、再感染リスクが増加、ワクチン効果が低下する可能性が示唆されています。重症度については、現時点では結論が出ていません。

追加接種するワクチンは、2021年12月17日時点では、薬事承認されているファイザー社製、あるいはモデルナ社製ワクチンとなっており、2回目までと異なるメーカーのワクチンを使用する交互接種も可能となっています。接種を希望される場合は、お住まいの市区町村からの接種券の送付を待ち、これまでと同様に予約をお願いします。

また、インフルエンザワクチンなど新型コロナウイルス以外の接種を検討されている場合には、原則として同時接種はできず、互いに、片方のワクチンを受けて

奈良県の新型コロナウイルス感染者数のグラフ(出典・奈良県非公式COVID-19まとめサイト:12月14日時点)



大切な人を守るためにも、追加接種を検討ください。